

ことばキャンプ 8 月のおたより



今月のレッスンでは、以下のテーマや、言葉を取り上げます。

ワーク（抜粋）	取り上げる言葉（一例）・ワーク解説	補足
どっちにする？	・ えだまめ/オクラ ・ かぶとむし/とんぼ ・ わたあめ/たこやき ・ ペンギン/シロクマ ・ スイカ/パナナ ・ 流れるプール/波の出るプール ・ 噴水/水鉄砲 ・ ハンモック/ブランコ ・ サーフィン/ヨット ・ 入道雲/飛行機雲 ・ イルカショー/手品	どっちにする？は2つの選択肢から1つを主体的に選ぶことで自尊感情を（低学年の場合*）、理由を言うことで論理力（高学年の場合）を育みます。 *低学年クラスも年度後半になると、子供たちの思考のフレームワークが出来てくるので、理由を短い言葉で言ってもらうことがあります
好きですか、きらいですか？（低学年のみ）	・ にじ ・ うみ ・ ぶどう	1つの言葉を、好きか嫌いかで選び、その理由を教えてください。「なぜならば…」という理由に加えて、「例えば…」と具体例が挙げられるといいですね。
今日のプレゼン（低学年）	夏休みの思い出（低学年） 自分のよいところ（高学年）	自分のいいところを見つけて言葉にすることは、自己肯定につながります。
スモールトーク（高学年）	無人島に持っていくもの	冒険心を持って、無人島に持っていくものについて合意形成しましょう
ディベート（高学年アドバンス）	水泳の授業は 必要 vs 不要	小学校での水泳の授業には賛否両論あるようです。私の子供たちは冷たいシャワーが嫌なので水泳が嫌だと言っていました…子供たちがプライベートでスイミングのレッスンに行ける環境であれば、学校の授業の必要性を感じないかもしれません。とはいえ、全員がそういう環境ではありません。視点を変えてディベートができるように指導します。

ワーク	ワーク解説	補足
ババチョップ (低学年、高学年)	体を動かす楽しいワーク。応答力を鍛えることができます。	「普通のバージョン」だけでも難しいのに、インストラクターが二回戦としてやる「時々間違えてしまうバージョン」は、やっているインストラクター本人もよくわからなくなってきた汗をかいています！
マジカルバナナ (高学年アドバンス)	言葉の連想ゲームです。拡散的思考力を鍛えることができます。	
メインワーク＝語彙力	今月取り上げる7つの力ワークは「語彙力」です。言葉を知る力、とも言い換えられます。	言葉を沢山知ることは、表現力を磨くための基本です。本を読んだり、意識して言葉を集めていく・使うことで語彙は増えていきます。一語で済まらずに、他の言い方・表現はあるかな？と問いかけることも子どもの語彙力を伸ばすのを助けます。
ことばのかくれんぼ (低学年)	文章の中に隠れている動物を耳だけで探します。	どこに動物が隠れているのでしょうか。 「このパン、だれのパン？」「むしばをあした、ぬきますよ」
言いにくいことを伝える (高学年)	勇気をもって誰かに相談したり説明する場面を想定し、建設的な言い方を考えます。	補足として、事実と意見を分けることや、自分を主語にして言う表現を覚えてもらいます。
ふりかえり	レッスン全体を振り返って自分の取り組みを自分で肯定的に認めます。	セルフリフレクションといって、振り返る・言語化することで次の成長に繋がります。高学年では友達からの花丸コメントももらうことができます。

☆インストラクターから…

夏休みは日本全国どこも例年以上に暑かったと思います。皆さんはどのようにお過ごしでしたか。

さて、今月のテーマは「語彙力」です。よく「語彙力を高めるにはどうしたらいいでしょう」というご質問をいただきます。先日読んだ「言語の本質」(今井むつみ、秋田喜美著)には興味深い考察がありました。以下引用します。「子どもたちはたくさんのことばを覚えていかなければならない。ほとんどのことばは、音と意味の間にすぐにわかるつながりはない。…その意味で、基本的にすべてのことばは抽象的である。子どもはこれらのことばの意味を理解するのに、本当に苦労する。…言語は、音韻、文法、語彙の全てにおいて複雑な構造を持っている巨大な記号の体験である。…人間は、(少なくとも最初のことばの一群は) 記号が身体、あるいは自分の経験に接地できていないと学習できない。」つまり、本当の意味で言葉を理解して使えるようになるには、身体的・個人的な経験が必要だと言っているのです。私は語彙を増やすには「言葉」としてインプットすることを中心に考えていたため、「身体的な経験が必要」というのは目からうろこでした。しかしながら、個人の経験に照らし合わせてみれば確かに、ことばの意味を本当に理解するのは身体的な体験だと思いました。皆さんは、どう思いますか？

認定インストラクター
山内みずき